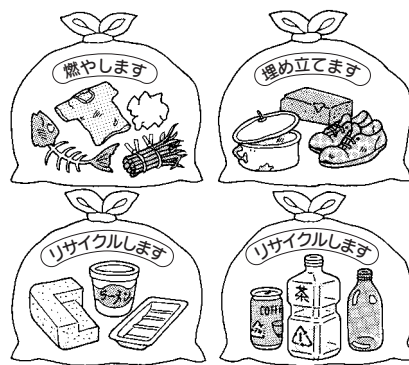


以上に買わなくなり、結果としてごみは減る。(西区 渡辺祐紀子さん)



専用のごみ袋を設ける  
(西区 宇野規年さん)

●お菓子などの食品は、安全性を確保するため箱入りのものが数多くあります。中には、明らかに過剰包装というものも。こうした無駄をなくしたいと思っても、個人がメーカーに働き掛けることはままならず、結局は燃やせるごみに出すしかありません。紙ごみのリサイクルについても考える必要があると思います。

(北区 四十歳代)

●ごみ問題の現状を考えると、近い将来、一般ごみの有料化は避けられないと思います(現在でも大型ごみなどは有料ですが)。その際、不法投棄への罰則強化が欠かせません。シートベルトの場合も、義務化以前は、着用率が上がりませんでした。違反者には、不法投棄防止用の監視カメラの設置費用などを負担してもらおうというのはどうでしょう。

(中央区 真田知之さん)

●市民のごみに関する知識不足が問

題なのでは。分別にしても、関心のない人にはいくら広報誌やチラシなどで呼び掛けても読まない人が多いと思います。学校教育やテレビコマーシャルなどで広く呼び掛けてみてはどうでしょう。

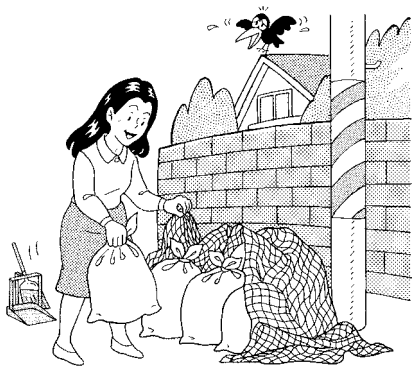
(南区 三十歳代)

●市民一人ひとりの心掛けや、企業の努力が大切なのは分かりますが、まずは国や市がごみ減量に全力で取り組むことが必要ではないでしょうか。また、行政が不要な施設や道路の建設をやめなければ、危機感が伝わってきません。市民の見本となつてもらいたいと思います。

(白石区 二十歳代)

## 若い方々も 地球の未来を 真剣に考えています

●学校の総合学習で環境問題を学んでいます。ごみの排出に伴う地球環境への悪い影響は、結局、自分たち



ごみボランティア制度を創設する  
(北区 谷本人士さん 大学生)

## ご意見ありがとうございました

8月号でお伝えしたごみの発生を抑制するための仕組みづくりについて、多くの方からご意見を寄せていただき、深く感謝しています。今回ご紹介したのは、その一部に過ぎませんが、いただいた声の一つ一つを、今後の施策を進める上での貴重な資料として役立てていきたいと考えています。

環境問題の深刻化や処理費用の増大など、ごみ問題は危機的な状況にあります。市では、今後も、環境負荷の少ない都市づくりを目指し、ごみ減量とリサイクルの取り組みを着実に進めていくとともに、経費節減に向けた効率化も図ってまいりますので、より一層のご協力をお願いします。

に降りかかってくることに。ですから、小さな力かもしれませんが、私はできるだけごみが出ないように、こまめに分別することを心掛けています。未来を守るためには、一人ひとりの行動が大切なのです。

(中央区 松下聖詠さん 十二歳)

高くすれば、みんなごみを減らす工夫をするのではないのでしょうか。

●紙などの燃やせるごみと生ごみを分けるべきだと思います。生ごみはたい肥にリサイクルして、低価格が無償で市民に還元するというのはどうでしょうか。ごみの減量は世界的な課題。札幌市が世界に誇れるごみ処理の仕組みを確立することを、一市民として願っています。

(清田区 芳賀貢さん 十七歳)



札幌市長 桂 信雄

### さらなる ご意見はこちらへ

●環境局計画課  
〒060-8611 中央区北1西2市役所内  
FAX218-5108  
Eメールアドレス seiso@city.sapporo.jp